



profile

滋賀県議会議員 塚本茂樹
 2009年11月～2015年3月 湖南市議会議員
 2015年4月～ 滋賀県議会議員

塚本茂樹事務所
 〒520-3234 滋賀県湖南市中央5丁目59
 TEL.0748-76-4870 FAX.0748-76-4871
 E-mail : info@tsukamoto-shigeki.net

塚本茂樹 検索

web:www.tsukamoto-shigeki.net

コロナ禍の中、令和3年度がスタートしました。国内でも変異株が本格化し、本県においても今後の本格的な流行が見込まれています。今年度もコロナとの付き合い方が中心となりそうです。

今年度は、「ひと」の未来に向けて、すべてのひとのいのちが等しく守られ、輝き、人権が尊重される持続可能な共生社会を目指し、子を産む・子が生まれる・子が育つことへの支援の拡充、医療・看護・介護の体制の再構築、コロナ禍で悩み傷んでいる「こころの健康」への取り組みを強化するとともに、失業なき労働移動、新しい働き方への移行支援など、次世代のことを考え、次世代を担う人たちと知恵と力を合わせて、取り組みを作り進めてまいります。

令和3年4月 塚本しげき

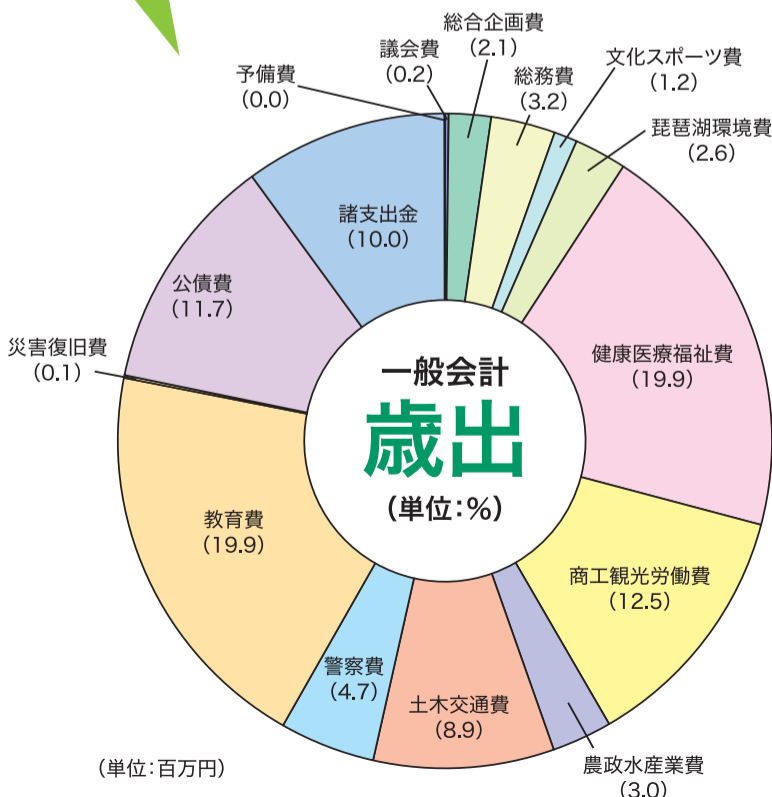
令和3年度 当初予算編成

未来を変える みんなの「一歩」

令和3年度当初予算の一般会計総額は、約6,670億円。前年度と比べると約965億円（16.9%）の増額、過去最大規模となりました。その主な要因は新型コロナウイルス感染症対策関連の予算として1,021億円を計上したことによるものです。内訳は、経済・雇用・生活支援対策に724億円、医療提供体制の充実・強化に251億円、感染拡大防止策として31億円、学びの機会確保・未来への投資に11億円、等です。

すべてのひとの“いのち”が等しく守られる本当の意味での「健康しが」、未来を変える一歩をみんなで踏み出す年、として、「ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた施策構築」「新型コロナウイルス感染症への対応」「財政健全化の推進」を基本的な方向性として位置づけ、予算が編成されました。一方で、令和3年度当初予算案の段階での財源不足額は120億円となり、昨年度の当初予算の不足額と比較して15億円増加し、引き続き厳しい財政状況となっています。

一般会計予算 約6,670億円



令和3年度予算では、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、未来を変える一歩を踏み出すための以下の3つの重要施策と未来への土壌づくりに重点的に取り組んでいきます。

主な事業

1.ひとの未来への一歩

～「いのち」と「くらし」人権の保障～

新型コロナウイルス感染症対策関連事業	291億6,500万円
・感染拡大防止対策、生活支援、医療提供体制の充実・確保等	
衛生科学センターの機能強化に向けたあり方の検討	370万円
ここに寄り添う滋賀(自殺予防、ひきこもり支援対策等)	1億1,150万円
滋賀の美の魅力発信	3億4,020万円
※6月27日(日)県立美術館 再開館(予定)	
女性の就労をサポートする取り組み	7,510万円
雇用シェアサポート(「失業なき労働移動」の実現)	3,390万円
地域の健康を支える公共交通のあり方検討	1,490万円
交通事故の少ない安全・安心の地域づくり	18億6,650万円
農業と福祉の連携による共生社会づくり	2,980万円

2.社会・経済の未来への一歩

～次世代のための施策(未来への投資)～

新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業	5億5,270万円
安心して不妊・不育治療を受けることができる環境づくり	6億9,650万円
「読み解く力」の育成(ICTの活用)	1,920万円
高等専門人材育成機関の設置検討事業	4,670万円
主権者教育の充実	130万円
社会的課題の解決に向けたビジネスの創出	1,380万円
少数でも精鋭の儲かる水産業の構築	3,130万円

3.自然の未来への一歩

～びわ湖発の「グリーン・リカバリー」～

新しい時代における観光振興と観光需要の回復	14億8,900万円
CO ₂ ネットゼロへの挑戦	55億6,200万円
「やまの健康」の推進	36億4,800万円

県民とともに作りあげる未来への土壌

新たな価値を創造するDXの推進	6億6,470万円
県民との対話と可視化による県政の実現	1,420万円